

雲仙岳周辺の地殻変動*

Crustal Deformations around Mt.Unzen Volcano

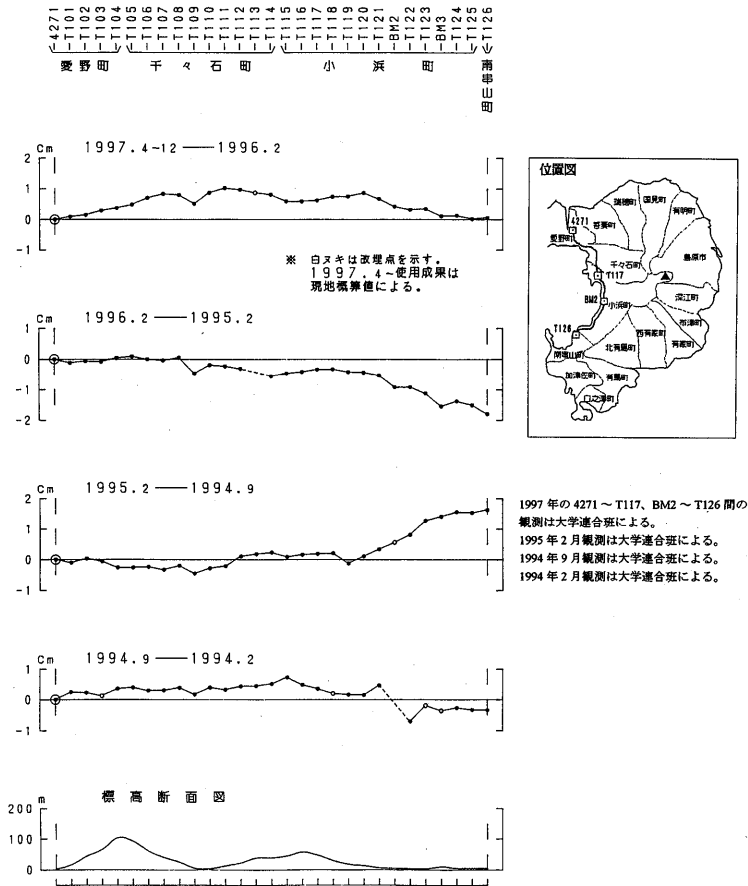
国土地理院

Geographical Survey Institute

島原半島の水準測量を1997年11-12月に実施した。第1図は橘湾沿いの測量結果である。中央部が隆起する変動がみられる。橘湾下に存在が推定されているマグマ溜まりの膨張を示唆しているのかもしれない。第2図は有明海沿いの測量結果である。従来みられていた地溝帯の沈降が今回は観測されなかった。第3図は島原半島を横断する路線の、また第4図は仁田峠へ向かう路線の、測量結果である。これから普賢岳付近に隆起はみられないと結論される。

第5図はGPS観測による島原半島の地殻水平変動である。期間は1997年6月1日-1998年2月15日で、固定点(◎)は大矢野にとってある。別府-島原地溝の分裂・拡大を示唆する地殻変動が観測されていると思われる。

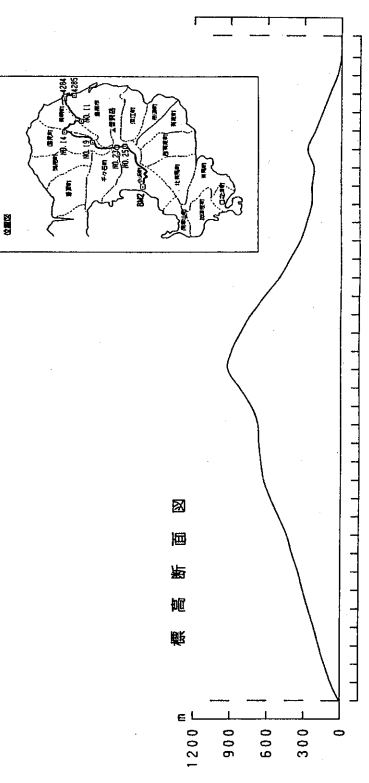
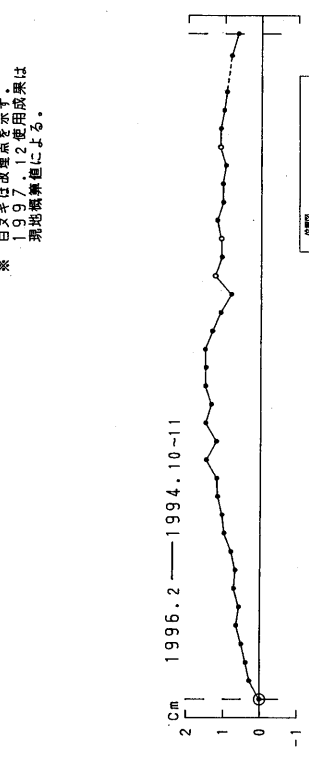
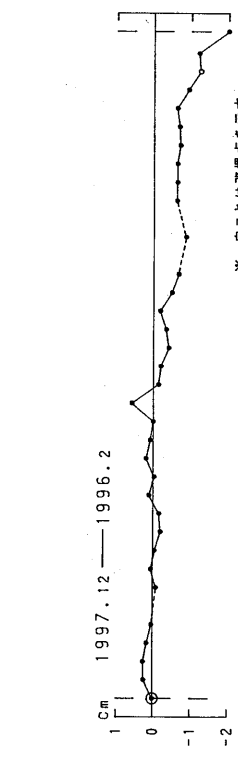
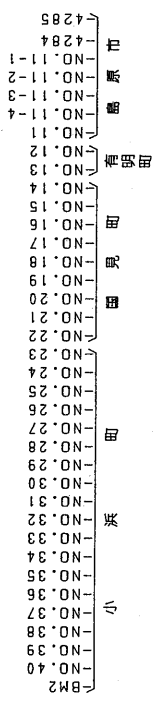
第6図は月平均潮位の差による島原半島の上下変動であるが、有意な変動は認められない。



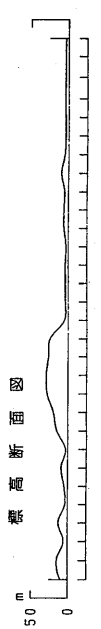
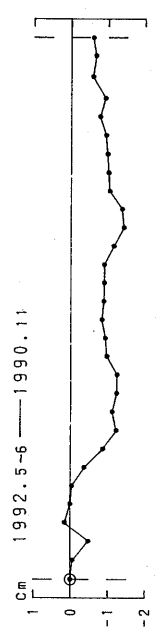
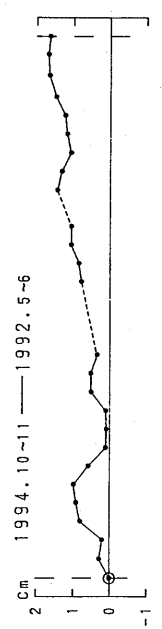
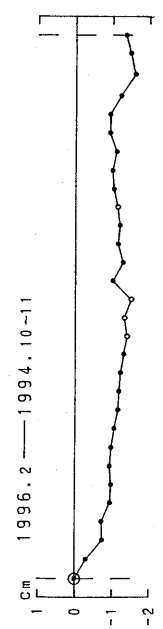
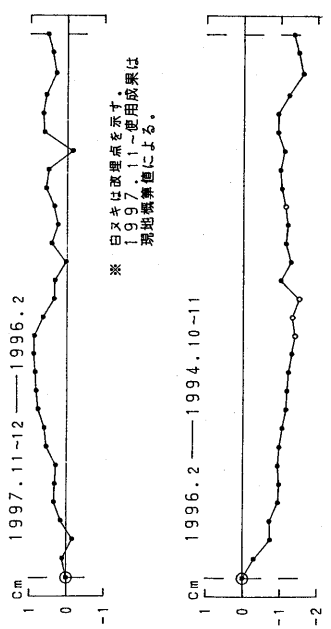
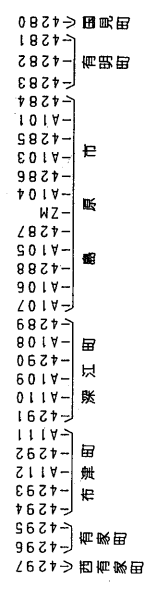
第1図 愛野町～南串山町間の上下変動

Fig.1 Height changes along the route from Aino to Minamikushiyama.

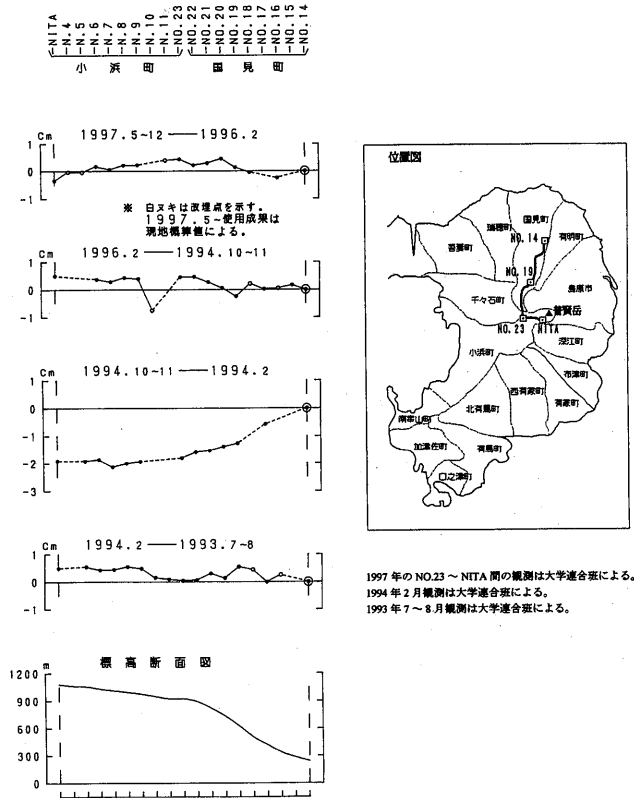
* Received 20 Mar.,1998



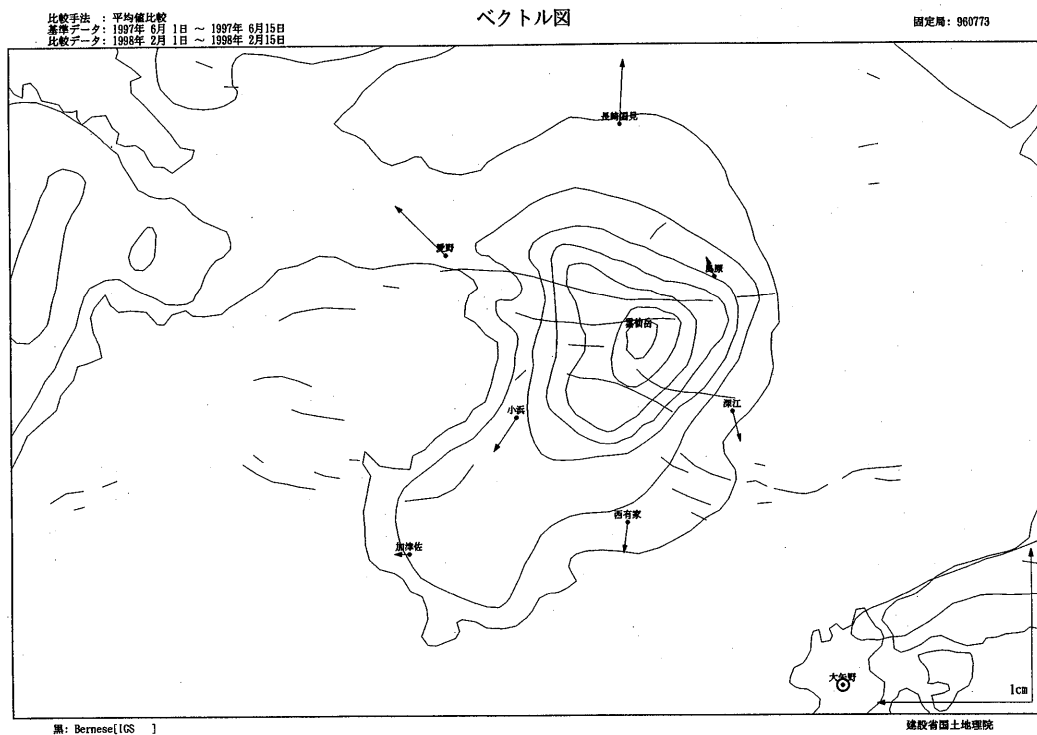
第2図 小浜町～島原市間の上下変動
Fig.2 Height changes along the route from Nishiarie to Kunimi.



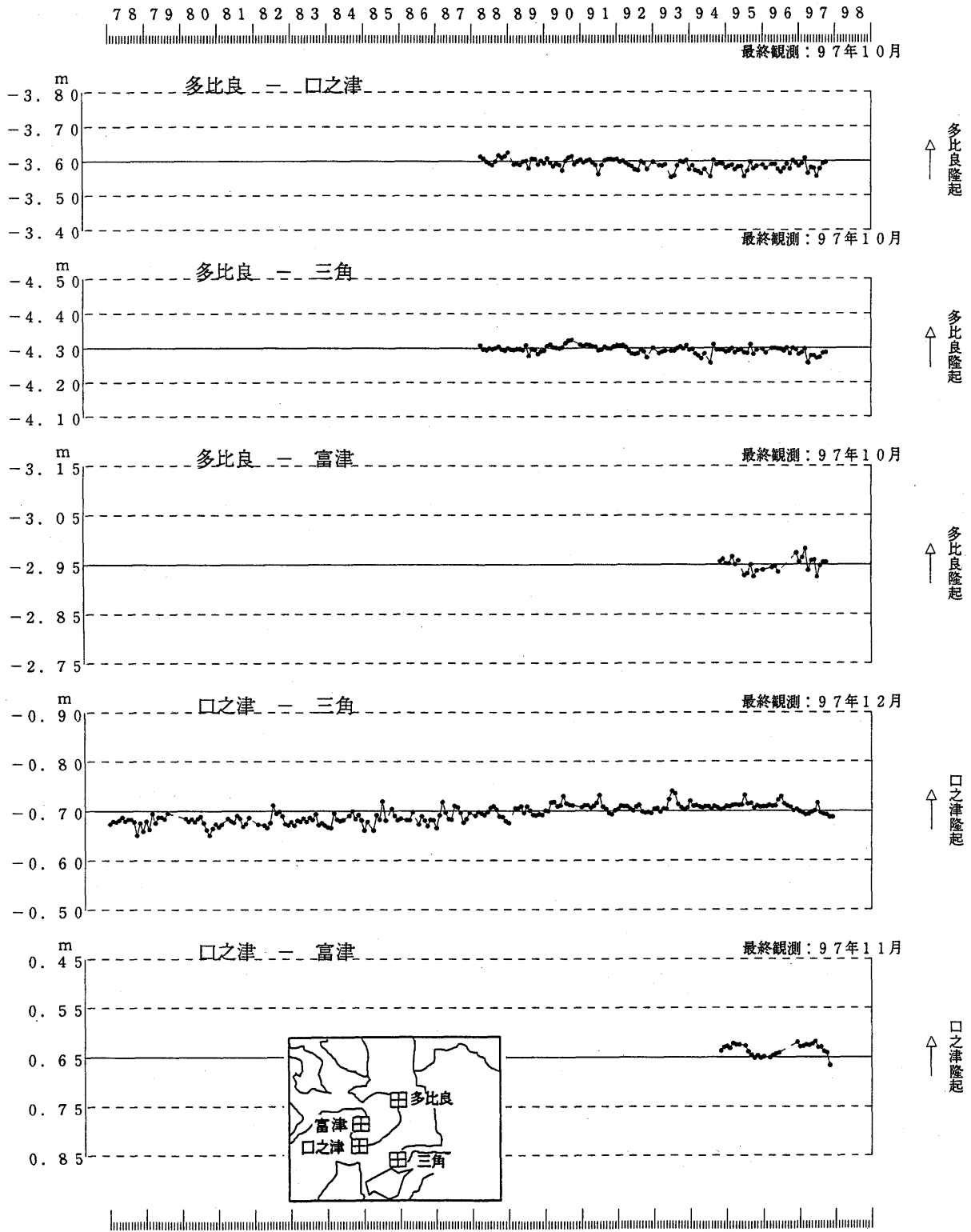
第3図 西有家町～国見町間の上下変動
Fig.3 Height changes along the route from Obama to Shimabara.



第4図 小浜町～国見町間の上下変動
 Fig.4 Height changes along the route from Obama to Kunimi.



第5図 島原半島の地殻水平変動
 期間: 1997年6月1日～1998年2月15日 固定点: 大矢野
 Fig.5 Horizontal Crustal displacement in the Shimabara Peninsula.
 Period: June.,1, 1997～Feb.,15, 1998 Fixed Point: Ooyano



第6図 多比良、口之津、三角、富津各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 6 Differences in monthly mean sea levels between Taira, Kutinotu, Misumi and Tomitsu tide stations.